



賑わいから閑かな季節へ

利尻山の山頂を目指す2つの登山ルートには登山者数の計測器が設置され、シーズン中の通過人数を黙々と数えています。初冠雪を過ぎた頃、静まりかえった利尻山に入り、計測器の撤去作業を行いました。計測器が示した今シーズンの入山者数は8400人超。多くの登山者に親しんで頂いた季節が終わり、利尻山は雪化粧をしながら暫しの眠りにつきます。

撮影地：鷲泊登山道（利尻富士町）

利尻島

風にも負けず 雪にも負けず

レブンアツモリソウの保護増殖事業のため、礼文島内には環境省が所管するエリアがあります。種の保存を担う特別な場所のため、周囲は立入防止柵が張り巡らされていますが、ここは遮るものがなく絶えず強風にさらされているため、柵の定期的な補修が欠かせません。厳しい風雪の季節を前に、この日も強風が吹く中、大切な場所を守るための補修作業を行いました。

撮影地：環境省所管地（礼文町）

礼文島



吹き荒れる風雪に備えて

下サロベツにある幌延ビジターセンターでは、館内や屋外の自然観察路など、施設の内外にたくさんの案内看板が立っています。ガイド役として、また自然観察路の道標として、利用者へ様々な情報を伝える案内看板ですが、冬の凄まじい風雪から守るため、毎年この時期に冬囲いの作業を行います。まもなくサロベツ湿原は、道標のない白銀の世界へと変わっていきます。

撮影地：幌延ビジターセンター（幌延町）

※11月～4月は冬季休館中です。

サロベツ



北海道地方環境事務所では北海道の国立公園などで、活躍するアクティブレジャーの活動を紹介する「アクティブレジャー」日記も配信しています。左のQPコードからご覧ください。



「国立公園たより」とは、日本最北の国立公園利尻礼文サロベツ国立公園で働く環境省のスタッフが季節ごとのとっておきを皆様にお届けする広報誌です。

※バックナンバーは左のQRコードからご覧になれます。

発行：環境省稚内自然保護官事務所